

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名 : 南丹地域活力と交流のための整備計画
- 2 整備計画年度 : 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度 : 平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	本計画の実施事業は一部を地域自主戦略交付金で実施したため、これを関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。
	・農業集落排水事業 亀岡地区 平成22年度に事業完了しました。
	・ため池等整備事業 西ヶ谷池地区 平成22年度に事業完了しました。
	・ため池等整備事業 京都地区 平成22年度ハザードマップ作成を3つのため池で行いました。
	・農地整備事業（経営体育成型） 川東地区 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
	・水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 南丹用水地区 平成24年度に事業完了しました。
	・水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 新庄地区 計画期間内に実施設計業務を実施、残事業を次期計画で実施予定。
	・水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 蓼島地区 平成24年度に事業完了しました。
	・農地防災事業（ため池整備工事） 大石ヶ谷池地区 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を他の事業で実施予定。
	・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業） 京都地区（H24） 平成24年度にハザードマップ作成を3つのため池で行いました。
②事業効果の発現状況	・農業集落排水事業 亀岡地区 平成22年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ため池等整備事業 西ヶ谷池地区 平成22年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ため池等整備事業 京都地区 ハザードマップ作成により災害リスク軽減の検証が出来ました。
	・農地整備事業（経営体育成型） 川東地区 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。
	・水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 南丹用水地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 新庄地区 計画期間内は実施設計業務の実施のみであり、事業効果の発現には至っていません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水利施設整備事業(基幹水利施設保全型) 蓼島地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 農地防災事業(ため池整備工事) 大石ヶ谷池地区 残事業を他の事業で実施し早期に事業効果発現をめざします。 ・ 農地防災事業(ため池緊急防災対策事業) 京都地区(H24) ハザードマップ作成により災害リスク軽減の検証が出来ました。
<p>③成果目標の目標値の実現状況</p>	<p>① 南丹市川東地区で11haの区画整理を行い、担い手への農地集積を2ha増加させる。 【目標値】 区画整理：11ha、担い手への農地集積増加：2ha 【実現状況】 区画整理：10.7ha、担い手への農地集積増加：2ha →平成25年度以降、次期計画に引き継ぎ、目標の達成に努めます。</p> <p>② 基幹水利施設の適正な補修修繕により200haの農地へ用水供給を行う。 【目標値】 補修修繕済み基幹水利施設の用水供給面積：200ha 【実現状況】 補修修繕済み基幹水利施設の用水供給面積：206ha (蓼島頭首工)</p> <p>③ ため池整備により、下流域409haの湛水災害の未然防止を図る。 【目標値】 下流域409haの湛水災害の未然防止 【実現状況】 下流域390haの湛水災害の未然防止(西ヶ谷池) →引き続き他の事業で大石ヶ谷池の完成による目標の達成に努めます。</p> <p>④ 亀岡市内全4処理施設で集落排水処理施設の最適な整備構想を策定する。 【目標値】 構想数0(H22年7月時点)→構想数1(H22年度末時点) 【実現状況】 構想数0(H22年7月時点)→構想数1(H22年度末時点)</p> <p>⑤ 災害リスク軽減の検証を3地域で実施する。 【目標値】 災害リスク軽減の検証をした地域：3地域 【実現状況】 災害リスク軽減の検証をした地域：6地域</p>
<p>④今後の方針</p>	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度(3年間)とする新たな計画を樹立し、今後とも農地整備や農業用水等の保全、農業集落排水処理施設の機能診断を進め、農業生産性の向上と安心・安全な地域づくりを図ることとします。</p>